秋田緑ヶ丘病院広報誌

たけのこ

2013 MARCH 3 / 第19号

医療法人 久盛会
秋田緑ヶ丘病院

日本医療機能評価機構
認定病院

〒011-0911 秋田市飯島字堀川 84 番地　TEL (018) 845-2161　FAX (018) 846-6942
ホームページ http://www.kyusei.or.jp/

理念

友情を図り、「生きる喜び」と「希望」を育み、
「安全・安心・信頼の医療」を実現します。

指針

1. 医療の安全と質の向上に努め、患者さんに信頼される医療を提供します
2. 医療人の育成を図り、医の倫理の高揚に努めます
3. 患者さんの人権と個人の尊厳を守り、親切、丁寧な医療サービスに努めます
4. 社会の変化・医療の進歩に対応できるよう自ら研鑽に努めます
5. 医療を通して、地域社会の一員として貢献できるように努めます
6. 精神障がいに対する偏見や誤解の解消に努めます

地域生活を応援します

パソコン講習会（活動支援）

ソフトバレー大会出場（活動支援）

地下道清掃

就労訓練－盛付け風景
（就労継続支援）

精神科医療と施設の歴史

福祉部次長　山王丸知也

精神障がい者の処遇について歴史的に振り返ると、私宅監置に始まり精神科病院への入院、人権擁護、社会復帰、自立、社会参加という流れです。

精神科医療において社会復帰の理念が明記されたのは、昭和62年の精神保健法が始まりです。社会復帰が着目されるなか、秋田緑ヶ丘病院では平成4年4月に福祉ホーム「鶴」を開設しました。これが当院における社会復帰施設の始まりとなります。その後、精神科医療は精神保健法の一部改正と平成7年には精神保健福祉法が施行され、当院ではグループホーム、援護寮、授産施設、地域生活支援センターと社会復帰施設を開設し、精神障がい者の社会復帰に向けた取り組みを実施してきました。

平成16年には精神保健福祉施策の改革ビジョンとして「入院医療中心から地域生活中心へ」という方策を推し進めていくことが示されます。平成18年には障害者自立支援法（以下、自立支援法）が完全施行されました。社会復帰施設は、自立支援法のもと指定障がい福祉サービス事業とされ、運営してきた施設は全て自立支援法に移行し、現在のグループホーム、就労継続支援事業B型、指定相談支援事業所と変更してきました。

精神障がい者の自立や社会参加といった考えや、取り組みは歴史が浅く発展途上です。今後の精神科医療については、アウトリーチの充実、地域移行・地域定着、救急体制の構築など、新たな取り組みと方向性が示され、地域社会における共生を目的に、障がい者自立支援法を㈱障がい者総合支援法として新たなスタートとなる動きも見られます。

障がい者をとりまく環境がめまぐるしく変化する中、福祉従事者として自身の考えを持ち、進むべき方向をイメージする事が必要です。これまでの歴史を踏まえ、新たな歴史を作り上げられるような職業人となりたいと考えます。

障がい福祉サービス事業
医療法人 久盛会 グループホーム特集

障がいを抱えている方が、自立を目指し、地域において日常生活を営むことができるよう相談、その他日常生活上の支援を行うことを目的としています。
専門の相談員が対応いたしますのでお気軽にご相談下さい。
TEL 018−846−6125

グループホームって？
1日の過ごしかたは？

〒011−0911
秋田市飯島字堀川84−29
TEL 018−846−6125
FAX 018−846−6842

グループホームすずらん

サービス管理責任者
加賀谷　亨

すずらんは、秋田市北部の飯島堀川地区にある定員17名（男性・女性）のグループホームです。同じ地区には、同一法人の秋田緑ケ丘病院、介護老人保健施設三楽園、グループホーム福寿草・かすみ草があります。建物は2階建てで、1階が駐車スペース、2階が生活スペースになっています。居室は個室、廊下は吹き抜けで天窓があるため、明るく開放感があります。

前身は、平成8年1月に開設した精神障がい者社会復帰援護寮（生活訓練施設）です。平成18年4月に施行された障がい者自立支援法で施設・事業所体系が見直され、当法人では平成21年1月にグループホームへと生まれ変わりました。

すずらんは、グループホーム全体の本部になっており、職員が24時間365日常在しています。そのため、より安心した共同生活を希望する方が主に利用されています。

〒011−0911
秋田市飯島字堀川84−21
福　寿　草 TEL 018−845−4700
かすみ草 TEL 018−845−2079

グループホーム福寿草・かすみ草

サービス管理責任者
加賀谷　亨

福寿草・かすみ草は、すずらんと同じ地区にあるグループホームで、福寿草が男性6名、かすみ草が女性6名の定員です。すぐ隣には介護老人保健施設三楽園があります。建物は2階建てで、1階が福寿草、2階がかすみ草となっています。

福寿草は平成6年4月から、かすみ草は平成8年4月から、それぞれ別の地区で既存住宅を活用し運営していました。しかし、建物の老朽化が進んできたため、平成12年12月に現在の場所へ新築移転しました。

すずらんに比べ定員規模が小さいですが、居室は個室になっていますので、プライバシーがしっかりと守られています。

すずらんからは徒歩約1分の距離にあるため、すずらんからのステップアップや、少人数での共同生活を希望する方等が利用されています。

〒011−0946
秋田市土崎港中央４丁目4−24
TEL 018−846−5885
FAX 018−846−5885

グループホーム鶴

サービス管理責任者
古仲　涼子

秋田市北部の土崎港地区にグループホーム鶴はあります。昔からの港町で、毎年7月20日・21日に土崎港曳山祭りが催され、特にこの時期は活気に満ちた町になります。

鶴の定員は7名（男性・女性）です。平成4年4月に開設した精神障がい者社会復帰施設福祉ホームが前身で、平成19年10月にグループホームになりました。建物は3階建てで1階は駐車スペース、2階は共同スペースの食堂・居間、3階が居住空間となっています。関連法人の土崎病院と介護老人保健施設なぎさが隣接しています。近隣には、医療機関やスーパー、ＪＲ土崎駅、銀行等もあり、恵まれた環境に位置しています。

周囲の様々な資源を活用しながら、共同生活を希望する方等が利用されています。

〒011−0913
秋田市飯島鼠田１丁目10−6
TEL 018−893−4735
FAX 018−893−4735

グループホームあざみ

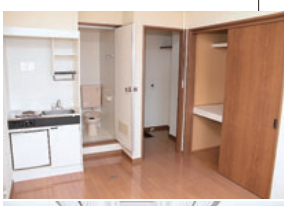
サービス管理責任者
古仲　涼子

秋田市北部にある飯島鼠田地区の住宅街の一角に、グループホームあざみはあります。近隣には、医療機関やコンビニ、ＪＲ上飯島駅、飲食店等があります。

定員は1階が10名、2階が8名で、建物としては18人が利用できます。元々アパートだった建物を改修し活用していますので、プライバシーがきちんと保たれています。

各階に共同スペースの食堂等があります。各居室には流し場、3点ユニットバス（風呂・洗面台・トイレ）があり、単身生活に近いグループホームとなっています。

グループホームあざみ 内部



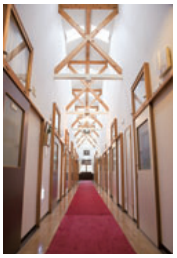
グループホームの１日

サービス管理責任者
保坂　祐子

「おはようございます」元気な挨拶で１日が始まるグループホーム。洗顔、身支度を整え、朝食を済ませ、ミーティング後に日中活動に向けて出発です。平日の利用者の日中活動先は主にデイケア利用（秋田緑ヶ丘病院）、就労継続支援Ｂ型（クローバー就労継続支援事業所）、地域活動支援センター（指定相談支援事業所クローバー）となっております。この活動のほかに定期精神科通院、他科医療機関通院等があります。これらの活動は利用者のニーズをサービス管理責任者が支援計画を立て週間予定表に基づいております。休日は一週間の疲れを癒す方、休日でないとできない事をする方、気分転換に出かける方など様々です。

共同生活援助（グループホーム）での生活では、「集団生活」という中で互いに尊重し合い協力し合うことが大切であり、そのうえで日中活動を行う事は必要な要素の一つです。各利用者の目標（自立）に向けて利用者の声に耳を傾け支援していきたいと思います。

それでは、各グループホーム入所者の一人に視点をあて一日をご紹介します。



グループホームすずらん 内部

グループホームすずらん

ーすずらん入所者のある１日ー　「夕食当番の日です」

6：00	起床。活動のため準備開始。朝食はクローバー提供でした。
8：45	全員でラジオ体操。その後ミーティングです。
9：00	デイケアに向けて出発です。
9：15～15：15	デイケアでミニ料理教室に参加。「チョコフォンデュ」はおいしかったです。
15：30	すずらんに戻り夕食当番です。全員で食べるご飯を炊き、食器の準備とテーブル拭きです。
17：30	本日の夕食は世話人さんが作ってくれたカレーライスです・・・いただきます・・
17：50	食後はかたづけです。当番の役割が終わったら入浴します。
21：30	部屋でくつろいだ後　寝ます。

グループホーム
福寿草・かすみ草

ー福寿草入所者のある１日ー　「買い出しで何を買おうかな」

6：00	起床。身支度を整えます。朝食はスーパーで購入したお惣菜とご飯です。
7：30	清掃当番で居間を掃除します。
8：30	デイケアに出発です。
9：15～15：15	デイケアでカラオケをしました。
15：30	本日は月に２回ある買い出し日です。お小遣いと相談して食料品を買います。
17：30	夕食は購入してきた弁当を食べました。
22：00	就寝まで部屋でくつろぎ１日の疲れを取りました。

グループホーム鶴

ー鶴入所者のある１日ー　「今日はクローバーの行事にいくぞ」

6：30	起床。　活動に向けて準備開始。納豆でご飯を食べよう。
9：10	クローバーまではバスを利用します。
10：00	地域活動支援センタークローバーの手作り教室に参加。
12：00	昼食は「ロンドンバス」でカレーライスを食べました。
13：00	ソフトバレーボール練習に向けて出発です。（送迎付き）
15：00	北部公民館での練習で汗を流しました。練習後解散。（バスを利用します）
16：00	鶴に戻りました。まずは入浴します。
17：00	夕食はクローバー弁当。「本日はハンバーグでした」
20：30	自由時間はテレビを観たりお話しをしたり・・・もう寝ますｚｚｚ

グループホームあざみ

ーあざみ入所者のある１日ー　「今日はクローバー就労訓練の作業を頑張るぞ」

6：30	起床。身支度を整え朝食を摂り、持参するお弁当を作ります。
9：20	廊下清掃当番も終えクローバーへ出発です。
10：00～15：30	クローバー就労継続支援事業所で配食作業です。
16：00	作業を終えあざみに戻り、本日は全体会に参加します。
16：30	明日の朝食と昼食のため調理をします。
17：30	食堂で夕食[クローバー弁当]を摂り　部屋でくつろぎます。
22：00	１日の疲れをとり寝ます。

外来診療のご案内

心療内科・精神科・内科・麻酔科

◆初診の場合

〈受付時間〉午前　8：45～11：30まで
〈受付窓口〉受付・総合案内へ
〈診療時間〉平日（土曜日は午前中のみ）
9：00～12：00／14：00～17：00
但し、救急の場合はその限りではありません。
（午後に予約制による診察を行っています。）
※内科は土曜日休診、麻酔科は平日午後・土曜日休診。
〈必要なもの〉　保険証
※受給証をお持ちの方は併せて受給者証を提示してください。

◆２回目以降受診（再診）の場合は

〈受付窓口〉外来・再診受付へ
〈必要なもの〉診察券と予約券

◆専門外来について

「うつ・ストレス外来」「女性専門外来」「思春期外来」「もの忘れ外来」「睡眠障がい外来」「てんかん外来」「ＰＴＳＤ外来」「頭痛外来」こちらの外来診療については完全予約制となりますので受付までお電話下さい。

毎月１回は保険証の確認をさせていただきますのでご提示願います。

クレジットカードでの支払いが可能です

サービス向上の１つとして、診療費等の支払いについては、JCB、AMERICAN EXPRESS、VISA 及び MasterCard の４ブランドのクレジットカードがご利用できます。クレジットカードが利用できることにより、支払方法の選択肢が広がるほか、現金の持ち合わせがなくても安心して受診できるようになります。

管理棟１階に自動販売機を追加設置しました

管理棟１階のパティオ付近（パティオ→管理棟２階へ向かう階段付近）にお菓子類や日用品、文具などを扱う自動販売機を設置しました。

夜間の急な入院があった場合に必要な日用品も取り扱っております。

今後、取り入れて欲しい物などがございましたら総合受付または意見箱への投書などでお聞かせ下さい。

編集後記

車に置いてあったペットボトル、中には水が入っていましたが車のエンジンを消して１時間後にはシャーベットになっていました。

冬には夏の、夏には冬の「ありがたさ」を忘れてしまいますね。

もうすぐ春。季節感溢れる秋田を楽しんで生きていきたいです。

Q&A

Q 給食について、美容の事も考えて、牛肉・野菜など、豊富に付けてもらいたいです。

A 栄養科では厚生労働省の食事摂取基準に沿ってメニュー作りを行っております。給与量については、メニュー表に記載していますので、どうぞご確認下さい。

Q 給食で炭水化物が多く太ることが心配です。盛り付け方で少なく見える場合があります。

A 盛り付けに関しては、厨房職員と話し合い、より良いものになるよう努力いたします。見た目にも美味しく食べてもらえるよう工夫して参ります。

Q 土・日・祝日も受付の所の川の水を流して下さい。心が癒されるので。

A ご意見有難うございます。東日本大震災以降、当院では病院全体で節電に取り組んでいるところでございます。今後の状況を見ながら、ご要望について検討させて頂きますが、当面は稼動させない事についてどうぞご理解下さい。

Q 蛍光灯が抜いてあるのはどうしてですか。新聞が読みづらいときがあります。

A 蛍光灯につきましては、省エネ対策の一環で、院内の一部分を計画的に抜いています。読み書きに影響のない箇所を抜いていますが、ご不便を感じられたときには、病院スタッフまでお知らせ下さい。

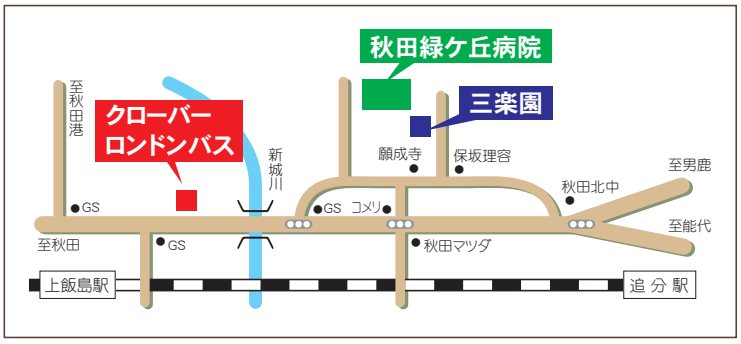
職員や病棟に関するご意見につきましては、各担当責任者が個別に対応しております。病院運営の参考にさせて頂きますので、今後ともご協力宜しくお願いいたします。

こんにちは。新人です！

精神保健福祉士
齊藤　千夏

入職して、もうすぐ１年が経とうとしています。相談室での１日は実にあっという間です。そのため、何からすべきなのか、見通しをもって業務に取り組むことが必要であると感じています。同時に、一つ一つの業務に責任をもって真摯に取り組む姿勢が大切であると感じています。相談室に寄せられる相談は、例え内容が似ていたとしても、患者さんを取り巻く環境に同じものはありません。その人の背景にあるものを理解した対応が私たちには求められます。その難しさに悩む毎日ですが、頼もしい先輩達の姿から学びとり、患者さん、ご家族、職員の皆さんから信頼して頂ける相談員になれる努力していきたいと思います。今後ともご指導よろしくお願いします。

医事課
佐々木忠清

秋田緑ヶ丘病院に来て、あっという間に月日が経ちました。これからどんどん色々なことを学び、また慣れない部分がたくさんありご迷惑を掛けてばかりですが、気さくで優しい先輩方に支えられながら充実した毎日を過ごしています。

病院の顔でもある医事課員として、早く一人前の仕事ができるよう粘り強く頑張りたいと思っていますので、宜しくお願い致します。